

当院に長期入院されている患者様の作品です。以前から作業療法の時間に「何かいいことが起きますように」との願いを込めつくられていた千羽鶴を、皆にも楽しんで見てもらえるように冬季室内展示用に制作しました。

制作期間中は、「たくさん折るのは大変だけど指先や手の運動になっていい」、「折り紙を折ることで1日が充実している」、「皆から凄いいねと声をかけられ、やりがいがある」等、スタッフに報告しながら意欲的に取り組み過すことができました。

今回、表紙に選ばれ、「嬉しい、いいことが起きたね」、「いつ出るの」と大変喜ばれ、今後の活動の励みとなっています。

(担当 OT：今野政英)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



大多喜病院 ダチョウの卵 「くじゃくのあしどり」

色合いが凄く綺麗です。くじゃくの世界がすばらしいです！(K.O.)/くじゃくがかわいくできた。皆でつくれて楽しかった。(茂男)/皆と楽しく作業されていました。(スタッフ：高津)/すばらしい！皆でつくれてよかった！(藤平茂子)/7人でよい作品ができてよかった！(吉野茂男)/皆でつくって、よい作品ができてよかった。(W.A.)/和紙を貼ることが楽しかった。(渡邊源一)/個々が仲間を尊重し、楽しみながら制作した作品です。(担当 Ns：長谷雅代)